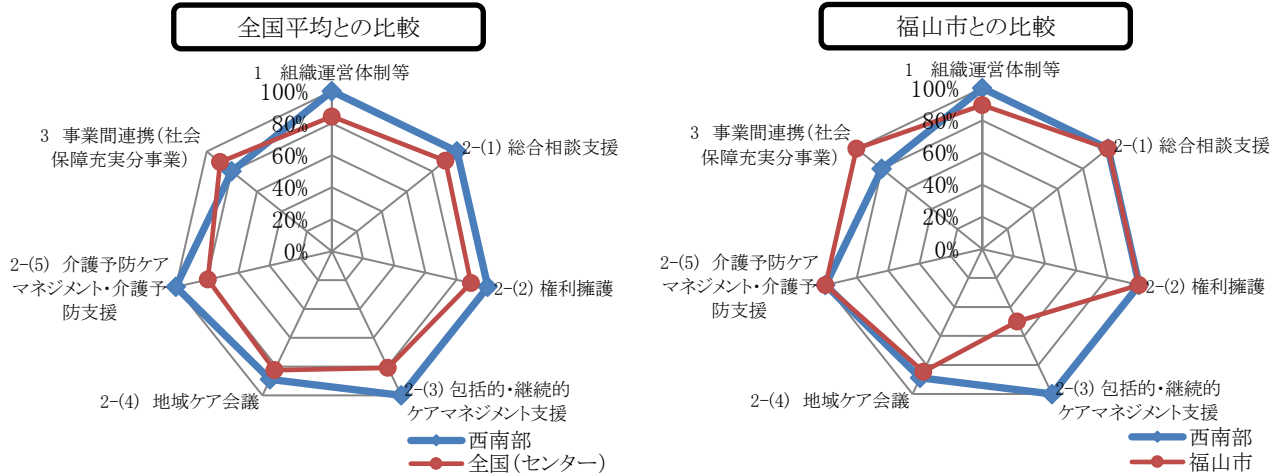


2020年度(令和2年度) 福山市西南部地域包括支援センターの事業評価結果の概要

| | |
|--------------|--|
| 事業委託法人名称 | 一般社団法人 松永沼隈地区医師会 |
| 地域包括支援センター名称 | 福山市西南部地域包括支援センター |
| 担当小学校区 | 内浦, 内海, 能登原, 千年, 常石, 山南, 松永, 柳津, 金江, 藤江, 神村, 本郷, 遺芳丘 |

※評価対象年度: 2019年度(令和元年度)



| 項番 | 評価項目 | 評価内容 | 平均点数・% |
|-------|---------------------|--|--------|
| 1 | 組織運営体制等 | <ul style="list-style-type: none"> 職員配置について、適正な配置ができています。 認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームと一体的な配置により連携しやすい体制を整え、相談から支援開始までスムーズな取組に努めている。 包括的支援事業の一体的な運用のため、サブセンターの集約に取り組み、2020年(令和2年)4月にサブセンター内海・沼隈を開設した。 | 100.0% |
| 2-(1) | 総合相談支援 | <ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援業務について、円滑に実施できている。 複合的な課題を有する世帯や65歳未満の事例についても、学区担当保健師、障がい福祉の相談窓口、ケースワーカー等と連携し対応している。 円滑な支援に資するよう、家族介護に関する相談を分析している。 | 100.0% |
| 2-(2) | 権利擁護 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待等、権利擁護に関する相談に対して、保健事業実施課や関係機関と連携を図りながら対応できている。 成年後見制度や消費者被害について、関係機関との連携が図れており、継続的な連携への取組が望まれる。 | 100.0% |
| 2-(3) | 包括的・継続的ケアマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員を対象とした研修会(西南部ケアマネジメント協議会)を、ニーズに基づき年間計画を定め開催している。 主任介護支援専門員を対象とした事例検討会(まなびの会)を、年に3回開催している。 | 100.0% |
| 2-(4) | 地域ケア会議 | <ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議(個別)を3回、地域ケア会議(日常生活圏域)を1回開催した。 地域の関係機関と連携し、「みらいプロジェクト」を通じて地域課題を検討している。 参加者との議事録の共有や会議後のモニタリング等適正な運用ができています。 自立支援型地域ケア会議について、2021年度(令和3年度)での試験的な開催にむけ、具体的な検討を進めている。 | 88.9% |
| 2-(5) | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防ケアマネジメント、介護予防支援について、三職種の職員一人当たりが担当する支援の件数が市が定める基準を超えているため、是正する必要がある。委託先の確保のため、居宅介護支援事業所等に対する周知活動を検討している。 一般介護予防事業として、介護予防教室(老いかた塾)を定期的に開催している。 住民主体の通いの場において、積極的に健康講座を実施している。 | 100.0% |
| 3 | 事業間連携(社会保障充実分事業) | <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ「CaféGETA」、「ほたるカフェ」を地域の事業所等の関係者と連携し、月1回開催している。 認知症サポーター養成講座によりボランティアを育成し、2020年度(令和2年度)に実施した頭はつつ教室のサポーター確保につなげることができた。 生活支援コーディネーターと連携し、協議体に参加し、生活支援体制の整備に取り組んでいる。 医療関係者と合同の事例検討会に参加していないため、関係機関と連携し参加する必要がある。 | 80.0% |